

第17回日本白鳥の会総会，結果報告

1. 日 時 平成元年7月23日(日) 午前9時30分～午後3時
2. 場 所 東京都新宿区「大正セントラルホテル」
3. 出席者 松井会長以下20余名
4. 議事次第

(1) 松井会長のあいさつ

5月24日に死去された，日本白鳥の会初代会長，家田三郎氏の功労をたたえた。北海道浜頓別町のクッチャロ湖が6月20日付けで昭和46年2月2日ラムサールにおいて作成された，特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約，ラムサール条約に規定する湿地登録した。

谷口明郎理事(福島県)がバードウィークに野鳥保護の功労が認められ日本鳥類保護連盟会長賞を受賞されたことに対しお祝いを述べた。

日本白鳥の会設立から中心的に働かれた人が亡くなった，このような悲しいこと，嬉しいことを乗り越えて白鳥の保護に当たろうと述べた。

(2) 議長選出

阿部学氏を選出。

(3) 昭和63年度決算と事業報告について

原案どおり承認。

(4) 平成元年度予算案，事業計画について

平成元年度予算案については，最初から赤字を見込んだ変則的な予算案であるが，収入を少しでも考えることを前提に承認された。

次期研修会については，秋田県内の会員発掘の目的を含めて，秋田県十文字町での明年3月開催を目指す。会員空白地帯であり十文字町での開催が困難なときは，宮城県伊豆沼で開催することを決めた。決定は会長が他の役員の見解を調整し決定することにした。

(5) 役員改選について

会長，副会長，監事については，現役員の内任が満場一致で決定した。理事については現理事が再選され，新たに，阿部誠一氏(青森県)，花積三千人氏(千葉県)，林俊夫氏(長野県)を選出した。

(6) 名誉会員制度について

10年以上会員で，特に白鳥の保護等で日本白鳥の会の発展に寄与し，高齢を理由に退会の意志を表した会員に対して，会費免除の特典を与えて名誉会員の称号を与えることにした。人選については会長，副会長で決める。

(7) 会費増収について

日本白鳥の会の会費増収のため，次のような案が出されたが，会の健全財政の回復のため会員皆様のご協力を特にお願ひします。

1. 「アニマ」等に白鳥の珍しい写真，美しい写真を提供し日本白鳥の会の宣伝をする。そのため

白鳥の写真をお持ちの方は事務局までお貸し下さい。

2. 日本野鳥の会の機関誌に当会会員募集のキャンペーンを行う。
 3. 日本白鳥の会役員の方は維持会費として5,000円以上の会費納入のお願いをする。一般会員についても維持会員になることができる。
- (8) ハクチョウ大量死事件に対する会としての取組みについて

北海道美幌市の宮島沼で鉛中毒によるオオハクチョウ大量死事件に対しては、当会はいち早く、宮島沼の銃猟禁止等の要望書を提出したが、地元農協の反対にあい、会としての要望が受け入れられるか流動的である。

ハクチョウ大量死に対しては、速やかに事務局までお知らせ下さい。所轄地方公共団体等に要望書を提出し再発防止に努める。ハクチョウの死に対しては科学的根拠を盛り込んで要望書を出すことにした。

- (9) 白鳥ニュースのニュースレポーター制度について

白鳥ニュースのニュースについては、北海道で集めたニュースが殆どです。本州各地にも白鳥に関する話題がマスコミにのることがあると思います。その折には事務局にもお知らせ下さい。新聞のコピーは特に歓迎します。提供者は白鳥ニュースに氏名を掲載する。今回は特に人選については決めなかったが、会員皆様全員からのニュースをお待ちしています。

研究発表

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. コハクチョウの渡りについて | 藤 卷 裕 蔵 氏 (北海道) |
| 2. 中国天山山脈のハクチョウ類繁殖地 | 本 田 清 氏 (新潟県) |
| 3. 北上川のアメリカコハクチョウ (スライド) | 村 瀬 正 夫 氏 (岩手県) |
| 4. 今期のハクチョウ (スライド) | 八 木 博 氏 (福島県) |